



# おにぎり通信

2015年6月27日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

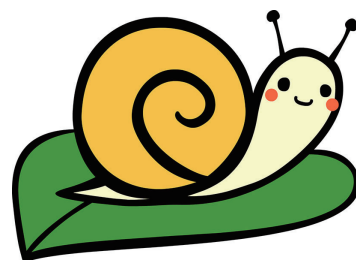
こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

今年もはや、半年が終わろうとしています。各地で火山の活動が活発になり、地震も相変わらずあちこちで起きています。「日本列島は火山列島なのだ」ということをあらためて思い知らされた半年でした。

梅雨のさなか、体調をくずしておられませんか。もし不調のときには、ぎりぎりまで我慢せずに、遠慮なく申し出てください。

〈福祉行動報告〉 6月15日

どなたも参加されませんでした。



次回の福祉行動：6月29日(月) 東京駅丸の内北口地下に朝8時

30分までに集合してください。喫煙所横、コンビニの並びの赤富士の

絵のところに「おにぎり通信」を持った者が待機しますので、声をか

けてください。病院に行きたい方や、体を休めたい方と一緒に「福祉事務所」や

「聖イグナチオ生活相談室」まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は毎週

月曜日(月曜日が祝日のときは火曜日)です。福祉行動は参加されるそれぞれの方

が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます。

最寄の福祉事務所ほか

中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

聖イグナチオ生活相談室・千代田区麴町 6-5-1 聖イグナチオ教会内

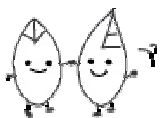
# 野宿生活から抜け出すために——自立支援センターについて

自立のために安定した仕事を確保できればいいのですが、求人があっても、「住所がない」「携帯がない」などの理由で雇ってもらえないことのほうが多いのが現実です。そこで、役所の福祉事務所に相談し、自立支援センターに入所する、生活保護を受けて住所を持つのが現実的な方法です。すでにご存じの方も多いと思いますが、今回は自立支援センターについてお話しします。

自立支援センターに住みながら就労支援、生活支援を受けることとなりますが、就職活動で「住所がない」「連絡先がない」という問題は解消されるので、少しは就職先を見つけやすくなります。おにぎり仲間の福祉行動は千代田福祉や中央福祉が中心なので、自立支援センターは「港寮」(港区海岸3-16-8)です。利用者は男性に限られ、定員は76名。千代田福祉の場合は、月曜日に利用申し込みをし、水曜日に抽選で入所が決まります。それまでの間は民間の施設で緊急一時宿泊のかたちで待機となります。●どんな人が利用できるか——住まいがなく、就労を希望する男性(女性は他の事業を利用することになります)。ただし、入院や介助などの必要がある人は生活保護にまわることになります。●どういう生活をするか——パーティションで仕切った居室(下の写真)が用意され、食事の提供や健康相談などにより心身の健康回復を図るとともに、就労に問題がないと認められた人を対象に、職業・住宅等についての相談、自立支援住宅での生活訓練など、就労による自立をめざします。就職がむずかしい人は生活保護になることも。●いつまで利用できるか——最大6か月。利用期間内に仕事が見つければ、家賃も食費もかからないので、お金をためてアパートを借りて自立支援センターから出るという理想のかたちになります。



左から「港寮の全景」  
「居室」「支給される日用品」



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。一人でも多くの方に召し上がっていただくため、おにぎりは一人一個でお願いいたします。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：090-4959-0652 岩田